

令和 6 年度 富谷市立日吉台小学校 学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 2 0 日

学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○「支持的風土を持った学級集団をつくり、協働的な学びを推進する」

- ・教育目標を実現するため、「支持的風土を持った学級集団をつくり、協働的な学びを推進する」という重点目標に年度が変わっても継続して取り組んでおり、教職員の工夫や熱心な働き掛けの下、児童が主体的に学び合う姿が見られた。
- ・児童が学びの共同体として教え合い、認め合うことが積み重ねられており、自主的な学びを通して学力を身に付けられるように教育活動が工夫されていた。児童が互いに教え合い、語り合い、認め合いながら、明るく生き生きと活動する姿が見られた。
- ・教室だけでなく、特別教室や多目的ホールなどの学校施設を十二分に活用して教育活動が行われており、それを実現するための準備等、教職員の日頃の努力が感じられた。
- ・人的ネットワークを生かしながら、地域に根差した特色ある教育活動を創造できるように取り組んでいた。
- ・今後の教育活動の継承と発展を目的として「そろえる」「つなぐ」をキーワードに学校経営がなされ、持続可能な学校づくりに向けて毎月重点項目を確認しながら、全校児童と教職員全員で日吉台小学校を創るという意識で協働的に教育活動が行われていた。

(2) 成果について

- ・児童の実態を把握し、分かりやすい授業が工夫されており、一人一人に応じたきめ細やかな指導によって基礎的な学習内容が定着していると感じた。
- ・児童がとても生き生きと学んでおり、やり方が分からない友達に優しく教えてあげたり、グループでいっしょに考えて答えを導きだそうとしたりする様子が見られ、学び合う姿勢が自然に身に付けられていると感じた。
- ・学習形態を工夫することで、児童の学習意欲を引き出すことができていた。学び合いを基本とした授業が定着しており、自主的に学習に取り組む姿も見られた。児童が学習に向かう意識や態度が立派である。
- ・思いやりと感謝の気持ちを児童が共有している光景から、仲が良く、いじめがない学校であると感じた。
- ・地域と連携しながら教育活動に取り組んでいた。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・保護者アンケートの回答率が昨年度より20%以上増えており、懸念していた点が改善されつつある。しかし、学校がしっかり対応している部分について低い評価となっている項目もあったので、学校の取組を更に保護者へアピールしてほしい。
- ・道徳の授業や挨拶運動などの実践により内面を磨く指導を行っているが、道徳の授業を工夫して道徳的な判断力、心情、実践意欲等をどう育てていくか、家庭や地域とどのように連携をとってよりよい学校生活に在り方について児童に考えさせ実践させていくかが課題である。ルールやマナーをきちんと指導し、悩みを相談できる体制づくりが必要である。
- ・地域の中での学校の役割を意識し、開かれた学校として児童ができる地域貢献についても考えながら、今後も地域との関わりを大切にしてほしい。
- ・富谷市の魅力的な取組の一つである金管バンド（マーチング）について、講師謝金や教員の休日手当も予算化されたと聞き、安堵している。今年度は県大会や東北大会にも出場しており、ぜひ継続していただきたい活動である。
- ・創立30周年を迎えようとしており、よりよい学校づくりに尽力してきた歴代の校長をはじめとした教職員に心より感謝している。今後も教職員の共通理解を図りながら研究や実践に力を入れ、児童を指導して行ってほしい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	・教育目標の達成に向け環境が整備され、教職員の厳しさと情熱を持った指導に保護者が信頼して児童を託している。
	2 魅力ある学校	A	・学校で出会う児童がいつも笑顔で生き生きとしており、校内にそんな児童の様子が分かる写真が張り出されている。学校は楽しいところで心の拠り所であると感心した。
	3 施設・設備	A	・交通安全教室や引き渡し訓練、防災教育等に加えて、PTAや地域と連携した街頭指導や見守り活動を継続的に行っており、安心である。
	4 安全管理	A	・情報発信が積極的に行われており、学校の動きが分かりやすく伝わってきた。
	5 教職員の資質の向上	A	・職員会議等で、全国や県の学力テストや生活習慣アンケートについて情報共有を図っており、学習面はもちろん生活面についても高い意識を持って指導に取り組んでいる。
	6 特色ある教育活動等	A	・毎月、重点項目について達成度を確認しながらこまめに取り組んでいた。

教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してバランスよく行事が設定され、学校に行きたくなる工夫がたくさんあった。 ・「チャレンジの木」は、全校児童が楽しみながら目標に向けてチャレンジし、月ごとのテーマをクリアしていく素晴らしい企画だと感じた。 ・運動会、学習発表会では、児童の生き生きと活動する姿、笑顔に感動した。 ・学力向上には、学校で個に応じた指導を行うことや授業改善が求められるが、家庭学習に対する意識を向上させることも大切である。学校と家庭が連携し、良好な学習習慣を身に付けさせること、基本的な生活習慣を定着させ、意欲を持たせる工夫をすることが必要である。 ・5年生の総合的な学習の時間に取り組んでいる「ゆめの森」の整備について、次年度の担い手となる4年生に引き継ぐ活動が行われていた。20数年前に教員とともに活動を作り上げ今では父親となっている卒業生にその話をする、とても感動していた。世代や時代を超えて受け継がれており、学校の継続した取組に感謝したい。
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整えることは、児童の心を育む上で重要である。 ・環境問題への対応について、意義や意思を理解させながら何を身に付けていくべきか話し合っていくことで児童の関心を高めさせていく等の工夫も必要である。 ・特別支援教育では、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、保護者と情報共有をした上で指導に取り組んでいた。個々の特性に合わせた特別支援学級での学習の他に、交流学級での学習も積極的に行われており、配慮が必要な児童の教育環境が整備されていた。周囲の児童への配慮や声掛けも適切に行い、心の成長を促す教育活動を期待する。 ・健康教育の充実を図るため、健康診断を活用し、健康に関する指導をしている。衛生面の指導も徹底している。 ・12月の「ひまわりフェスティバル」では、児童が学級ごとに趣向を凝らした遊びコーナーを企画しており、異学年の交流も活発に行われていた。
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	A	
	4 図書館教育	A	
	5 健康教育	A	
	6 特色ある教育活動等	A	

<p>地域との連携について</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川柳教室やミシンボランティア、本の読み聞かせ等で地域の教育力を十分に活用しており、児童の笑顔に暖かい交流を実感した。地域が持っている教育力を更に活用できるように今後も取り組んでほしい。 ・地域の外部講師を招いて体験活動をするこは、地域の方々を知る機会にもなり有意義だった。地域の方々も交流をすることで親近感が湧き、児童の見守りにもつながる。今後も多くの方々と行事等で交流が広がることを期待する。 ・児童に地域の一員としての自覚を高めるために、地域と連携した活動を継続してほしい。これからも積極的に触れ合う場を設け、地域とのつながりを大切にしてほしい。 ・新型コロナウイルスも5類の扱いとなり、通常の学校運営に戻りつつあるので、更に地域との交流を深めてほしい。運動会や学習発表会だけでなく、地域の方が気軽に学校を訪れることができる機会を作してほしい。
<p>いじめ問題への取組</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートを定期的に行い、いじめや児童の悩みに素早く気付いて対応する体制ができあがっている。児童の様子を把握する際、見逃しや見落としを最小限にするため教職員の観察、保護者からの訴え等、複数での確認を徹底している。 ・いじめを生まない環境づくりのため、先生方の姿勢や言葉づかい、教室内の整備・整理整頓にも気を配っていると聞き、身近な大人が児童の手本となるよう意識していることに感心した。 ・いじめだけでなく不登校についても、学校全体で丁寧に取り組んでおり、相談しやすい環境づくりに努力している。 ・大きなトラブルもなく、円滑に学校運営が行われている。保護者と連絡を強化し情報共有することで児童の心理的变化を見逃さず迅速な対応をしている。日々の生活の中での変化を早く見付けられるように児童とのコミュニケーションを大切にしてほしい。